

わたしたちの街に新しい発見

ふ♡れ♡あ♡い

いかた

3月号

No.11
平成18年
3月1日発行

生涯学習だより

発行■伊方町教育委員会 編集■生涯学習課 印刷■(株)豊予社



～人権フェスタ2006“いかた”を開催～

今月の主な紙面

- 人権フェスタ2006“いかた”
- 町卓球大会
- 公民館だより
- 伊方駅伝大会
- 学校通信
- 伊方スポセンだより
- 町見郷土館から
- 佐田岬民俗ノート
- いかた学童クラブの参加児童募集
- 図書館だより
- 人権学習シリーズ
- 子ども放送局
- 広報 文芸

毎月第2日曜日は「家庭の日」です。

3月のテーマ

“努力をたたえ合おう”

(実践方法)

- 入学、進学、就職を家族そろって明るい希望を持たせよう。
- 就職する子供と、職場における心がまえについて話し合おう。

人権フェスタ2006 “いかた”を開催

～守ろう 語ろう 身近にある私たちの人権～



伊方中3年 黒田美波さん



瀬戸中2年 緒方美佳さん

人権フェスタ2006 “いかた” が2月12日(日)中央公民館で開催されました。午前中は子ども映画まつりがあり小学生や親子連れで賑わいました。

午後の部では、開会行事の後、町内中学生4名による人権作文の発表がありました。最後に、奈良県御所市大正中学校で教諭の清原隆宣さんをお招きし、「人の世に熱と光を！」と題し、講演が行われました。講演の中で清原隆宣さんは、『物の長さを測る物差しは規格があつて、きちんと決まっている。しかし、人の値うちを測る物差しには規格がない。人を測る物差しは、



三崎中2年 兵藤将臣さん



二名津中3年 亀井愛美さん

能力主義に走っていないか。はやくできたことをほめる教師……はやく多くできることがいいという物差し

講演内容からちょっと考えてみよう！

みんな人が勝手につくった物差しで、これを見直していくことが大切。』と、人間は平等であるという水平のもののさしを広めるための熱い決意が語られました。

会場には600名を越す来場者があり、中学生からお年寄りまで人権について考える貴重な一日となりました。



テストで何点とるかという物差しだけが残った。

昔は、木登りの上手な子、潜りが上手な子はそれだけで、みんなに尊敬された。テストの答えがわからんというのが恥ずかしいという価値観が生まれた。

クレヨン24本入りのもの……24色だからよい。24本みな黒だったら気味が悪い。違つて当たり前という物差しを持つことが大切。夕焼けを塗るときには赤、夜は黒などそれぞれよいものがあるし、良さを認めあうことが大切。

十人十色

になつてゐる。遅い子は疎外感を味わう。



学力があつても差別ばかりしている子はダメ。人として生きることを学ぶのが教育ではないか。

エンジンの大きさよりもハンドルの切り方の方が大切。

自分の生活に結びつけながらわからせることが大切。自分で考え行動する子どもは生きる力をつけていく。

理屈で「あかん」はダメ。

◆大会結果

種 目	順位	氏 名	所 属
一般男子シングル	1位	山 本 真 司	帝京第五高校 教員
	2位	竹 本 健 吾	佐 田 岬 ク ラ ブ
	3位	吉 森 良 二	佐 田 岬 ク ラ ブ
一般女子シングル	1位	二 宮 奈 央	川 之 石 高 校
	2位	西 野 由 香	大 洲 体 協
	3位	二 宮 由 美	さ くら ク ラ ブ
中学校男子シングル	1位	窪 地 智 也	八 代 中 学 校
	2位	長 生 雄 佑	二 名 津 中 学 校
	3位	梶 原 崇 裕	二 名 津 中 学 校
中学校女子シングル	1位	菊 池 亜 美	八 代 中 学 校
	2位	山 口 久 美	伊 方 中 学 校
	3位	西 川 華 織	八 代 中 学 校
小学生 シ ン グ ル	1位	吉 森 茜	佐 田 岬 ク ラ ブ
	2位	片 岡 友 里	佐 田 岬 ク ラ ブ
	3位	向 井 一 真	佐 田 岬 ク ラ ブ
	4位	寺 崎 誠 人	佐 田 岬 ク ラ ブ
一般男子ダブルス	1位	吉 森 良 二 西 田 徳 一	佐 田 岬 ク ラ ブ 三 瓶 体 協
	2位	宇 都 宮 敬 晶	三 瓶 体 協
	3位	都 築 一 貴 山 内 大 輔 水 関 浩 貴	保 内 ク ラ ブ 坊 ち ゃ ん だ ん こ 坊 ち ゃ ん だ ん こ
一般女子ダブルス	1位	二 宮 由 美 渡 辺 美 也 子	さ くら ク ラ ブ さ くら ク ラ ブ
	2位	二 宮 奈 央 古 田 翔 子	川 之 石 高 校 川 之 石 高 校
	3位	阿 部 は る な 安 部 梨 沙	三 崎 高 校 三 崎 高 校
一般ミックスダブルス	1位	吉 森 良 二 二 宮 由 美	佐 田 岬 ク ラ ブ さ くら ク ラ ブ
	2位	大 竹 克 利 中 川 瑞 穂	三 瓶 高 校
中 学 校 男 子 団 体	1位	二名津中学校 A	
	2位	伊方中学校 A	
	3位	八代中学校 A	
中 学 校 女 子 団 体	1位	伊方中学校	
	2位	保内中学校 A	
	3位	八代中学校 A	

合併記念 第一回 伊方町卓球大会



2月19日(日)伊方スポーツセン

ターにおいて、合併記念第1回伊方町卓球大会が開催されました。

この大会は、旧三崎町で開催していた大会で、合併により新町が誕生したことを記念し、卓球を通して交流の輪を広げ健康な心と身体をつくり、技術の向上とスポーツの日常化を図ることを目的に、町教育委員会及び町体育協会が主催(三崎漁業協同組合後援)したもので、町内及び周辺地域の八幡浜市・西予市・大洲市等から250名の

参加がありました。

競技は、小学生シングルス、中学生団体、シングルス、一般・高校生中学生3年生を含む)シングルス、ダブ



ルス、ミックスダブルスで行われ、参加した選手は、日頃練習で鍛えた技を競い合いました。



伊方町女性団体連絡会

講演会を開催

2月8日(水)、女性団体連絡会員約80名が一堂に会し、連絡会主催による講演会が開催されました。

会設立後、第一回目となる講演会は、「暮らしと地球温暖化とエネルギー」を演題に、神奈川県から秋庭悦子先生を講師にお迎えいたしました。

先生は、「NPO法人あすかエネルギーフォーラム」理事長として、また消費生活アドバイザーとして活躍されておられます。最近問題になっている、地球



温暖化によって世界中で異常気象が起きていること。また、環境の変化により私たちの健康、暮らし方、そして文化まで変わってくるというお話に皆さん熱心に聞き入っていました。

家庭の温暖化対策として、国が掲げた「チームマイナス6%」を目標に、①冷暖房の工夫 ②節水 ③自動車の使い方 ④商品の選び方(エコマーク) ⑤マイバック ⑥待機電力をキープに、私たちが今からすぐでできることをわかりやすく説明していただきました。参加された皆さんは早速、できることから始めようとのことでした。運営をされた役員の皆さん、お疲れさまでした。



平成18年成人講座（伊方・瀬戸地域）

人生の節目を祝う

厄年といわれる33・42年齢並びに還暦の61歳年齢の方々が一堂に集い、平成18年成人講座が1月29日（日）瀬戸町民センター、2月19日（日）中央公民館で、それぞれ開催されました。

今年度の参加者数は瀬戸地域が21名、伊方地域が59名の参加がありました。

開会行事の後、講演会・厄払い神事・記念写真撮影を行い、その後、懇親会が開かれ久々の友人との再会に話もはずみました。

人生の大きな節目といわれる「厄年」を迎えられ、参加された皆さんは改めて人生を振り返ると共に、更なる誓いを立てられたことでしょう。今後、なお一層のご活躍をお祈りいたします。



瀬戸地域 61年齢の皆さん



伊方地域 61年齢の皆さん



瀬戸地域 33、42年齢の皆さん



伊方地域 33、42年齢の皆さん

二見公民館まつりを開催

地域に密着した文化活動の推進と地域間の交流を目的として、二月五日（日）二見小学校体育館を主会場に盛大に開催されました。

町村合併に伴い実施主体が公民館となり、名称も「ふるさとまつり」から「公民館まつり」へ変更になりましたが、このまつりは今年で22回を数える地域になくはない行事の一つです。

午前中は、二見小学校の学芸会と並行して、個人・団体等の趣味の作品や保育所園児・小中学生の作品等約300点



が展示され、訪れた人の目を楽しませてくれました。

また、亀ヶ池生活研究協議会と八幡浜漁協町見支所女性部によるお寿司や海産物の即売が行われ大変好評を得ていました。

午後からの「芸能発表のつどい」では、個人や団体による歌や踊りなど約20曲が披露され大いに盛り上がり、最後はもちまきで楽しい一日を過ごしました。

今後も公民館・地域・学校が協力し合い、地域の活性化をより一層図っていききたいものです。



『ミセススクール』を開催

―町見公民館―

2月15日(水)『ミセススクール』を開催しました。

このスクールは「多様な・高度化する女性の学習要求に応えるため、学ばしさが実感できる学習を実施する」という趣旨で、町見地区の婦人を対象に年間4～5回程度で実施しています。

今回は会員43名のうち、16名が出席し、国際交流員のジョシユア・ペールさんを講師に招き「アメリカの家庭料理を作りましょう」と題して調理実習を行いました。

参加された学級生の皆さんは、早速エプロン姿になり講師のジョシユアさんに用意していただいたレシピの説明を受け、手際よく調理にとりかかりました。メニューはアメリカの代表的な家庭料理で、「ミートローフ」「マッシュドポテト」「南部風コールスロウ(野菜サラダ)」の3品です。講師によるとこの料理をマスターすればホームステイの受け入れは完璧だということです。

途中、オープンレンジの使い方で悪戦苦闘



はしたものの無事でできあがり皆で美味しくいただきました。ことができました。

また、講師の呼びかけで、A.L.T.のアンジェラさんにも参加していただき、終始なごやかな雰囲気での交流を深めて今年度最後の学級開講式(を終わりました)。

会員からは、来年度もこの学級(ミセススクール)を開いて欲しいとの要望もあり、より充実した内容で開講したいと考えています。

婦人学級 ― 視察研修へ ―

エネルギー博&いちご狩り

2月4日(土)中央公民館の学習講座「婦人学級」が、松山市のアイテムえひめで開催された。「エネルギー&エコロジー博覧会in四国」を視察研修しました。この博覧会は四国経済産業局の主催により開催しているもので、ダイキアクシス等の企業や官公庁合わせて40団体の出展ゾーンがありました。軽くて曲がる太陽電池、使用済み天ぷら油で作ったディーゼル燃料等の出展や、二酸化炭素の発生しない電磁調理器の体験コーナー等、豊かな地球環境を未来の子供達へ受け継いでいくための、環境と経

済の両立を図った、様々な製品の出展やPRがありました。このエネルギー博のほかアイテム愛媛では地産地消をテーマにした県内または四国で生産された食品の販売や、セシールの展示会がありました。学級生にとってはこちらの方に興味があったかも…。



平成と一緒に、季節を歌って十八年

手作り俳句大会

1月16日、平成18年伊方町民新春俳句大会が伊方町俳句連合会(会長 梶谷芳久氏)の主催で開催されました。この俳句大会は、平均年齢70歳超と思われる俳句連合会員の皆さんが、若者にも負けない馬力で、企画、準備から当日の運営まで行う手作りの大会です。

始まりは平成元年に遡ります。平成元年といえは昭和天皇が崩御された年で、様々なイベントや地域行事が全国各地で自粛という名で中止された年でもありました。ご多分に漏れずこの俳句大会の開催も危ぶまれたそうです。しかし梶谷会長率いる伊方町俳句連合会は、あえて実施の道を選択し、平成という新時代の幕開けと共に新たな歴史の一步を踏み出しました。俳句を愛好する者の手

で、行政主導ではない手作りの文化行事がこの伊方の町に誕生した瞬間でした。その後も、準備等の苦労はあったと思われませんが馬力のある皆さんの熱意により以来十八年間、平成の時代と共に伊方の季節を歌ってきました。五感に感じるままの気持ちを率直に表現したり心の奥に眠っている思いなどを歌にするのか、俳句は、感性や脳を活性化させる十七文字の魔法の歌であるかのように会員のみなさんは、皆ユニークで若々しく見えます。会長と司会者のほからかな掛け合いが始まった今年の大会も、131点の作品出展があり、普段見過ごすような日常の風景や思いなどを様々に表現していました。見事賞に輝いたのは次の方たちのようです。これからも、この俳句大会がいつ



木戸悦子さん(町長賞)、池田君子さん(議長賞)、大野律子さん(教育長賞)、篠川勝子さん、井上良江さん(館長賞)、二宮寿賀子さん、岩見愛子さん(会長賞)

までも続き、文化の火が伊方の町に灯り続けることを願っています。もう少しでこの俳句大会も二十歳です。

第35回 伊方駅伝大会を開催

春の訪れを告げる恒例の伊方駅伝大会が2月11日(土)に開催されました。

今年で35回を数えるこの大会は、田之浦集会所前をスタートして、大浜臨港道を折り返し、伊方中学校グラウンドをゴールとする18.94kmを競います。

午前9時30分、阿部教育委員長の号砲で、29チームの選手が、熱い声援の中一斉にスタートし、各チームの選手が一丸となり一本のタスキに願いを込め、次の選手へとつないでゴールを目指し、健脚を

競い合いました。

今大会より瀬戸地域からの参加もあり(オープン参加2チーム・2部男子3チーム・女子2部1チーム)大会を盛り上げていただきました。

沿道には選手たちを応援しようとして大勢の方が集まり、温かい声援を送っていました。結果は下記のとおりです。



◆チーム成績表

部	順位	チーム名	記録
1部	優勝	湊 浦	1:05:46
	第2位	大 浜	1:08:22
	第3位	有 寿 来	1:13:02
2部(男子)	優勝	伊方サービスB	1:08:54
	第2位	瀬戸中バレー部A	1:11:50
	第3位	瀬 戸 ク ラ ブ	1:12:31
2部(女子)	優勝	瀬戸中バレー部	1:17:38
	第2位	伊方中バスケット部A	1:18:23
	第3位	伊方中バレー部	1:22:26



1部優勝の湊浦チーム



2部男子優勝の伊方サービスBチーム



2部女子優勝の瀬戸中バレー部

ひめつこ募金にご協力を!

愛媛県では、2017(平成29年)に64年ぶりに県内の国民体育大会(国体)開催に向け、準備作業を行っていましたが、平成16年7月に本県単独での開催の内々定を受け、昨年11月に準備委員会を設立し本格的な取り組みが始まりました。

今回、ひめつこ募金実行委員会からジュニア選手の育成及びスポーツの底辺拡大を支援し競技力の向上を図り、併せてスポーツ活動への参加を通して青少年の健全育成に寄与する目的で事業を推進するため、「ひめつこ募金」への協力要請が有りました。

つきましては、今後町内関係者・企業及び町内で開催される各種体育行事等で募金強調期間の平成19年まで町体育協会で募金活動を行います。

募金への協力要請及び募金箱を見かけましたら、趣旨にご賛同いただき国民体育大会を成功させるため、ご協力をお願いします。

はまゆう合唱団

春のコンサート開催

平成18年2月18日(土)、午後6時30分から三崎公民館4階大ホールにおいて、「はまゆう合唱団春のコンサート」が開催されました。

このコンサートは、はまゆう合唱団が日頃の練習の成果を発表する春恒例の行事となっています。

プログラムは、はまゆう合唱団の混声合唱、男性合唱、ユーフォニアム演奏、シャンソン独奏等盛りだくさんのすばらしい合唱と演奏でした。今年は設立30周年で記念コンサートとなり、

例年以上に団員の皆さんの熱意を感じました。今後も地域文化の振興のためますます活躍されることを期待しています。





学校通信



一人一人が輝いた学芸会

水ヶ浦小学校

去る二月五日、平成十七年度学芸会を行いました。気温は低めでしたが、天気の良い日となり、児童の家族はもとより大勢の方々においでいただきました。

一番始めは一年生のあいさつです。幕が開くと、ふろしきを袴に見立てて身に着け、ひな壇の上の座布団に正座をしての登場で、会場を沸かせました。二年生の拍子木に合わせて、五名の一年生が、大きな声でかわいらしく口上を述べ、拍手喝采でした。

全校表現では、四、五、六年生が「ソーラン節」を合奏し、途中から一、二、三年生がはつぴ姿の踊りで参加し、盛り上げました。劇では、どの学年も、それぞれのカラーを出し、創意工夫された内容でした。

一、二年生は、かえる言葉を使うよう命令したかえるの王様が、最後は他の生き物たちにかえる言葉でやりこめられるというお話題して「かえるの王様ひっくりかえる」の劇を、歌や踊りを交えて楽しく演じました。なかなかの演技派ぞろいでした。

三年生の「三年とうげ」は、吉本興業も顔負けの芸人ぞろいで、会場を笑いの渦に巻き込んだ、楽しい劇でした。一人一人が演技をよく練習しているのが分かりました。前半の最後には、六年生の学級PTAの方々が、「青春ヒットメロリー」と題して、『UFO』『青春アミーゴ』『夢芝居』など数曲を、歌のテープに合わせて踊りました。衣装も練習もばっちりです、会場を楽ませてくれました。

四年生は、忍者学園の忍者たちに扮し、ちよっとおとぼけでかわいいた忍術が、学園を守るために力を合わせていく、「あやうし！にん者学園」という劇を、ダンスや英会話も交えて、元氣いっぱい演じました。

五年生は、「わらぐつの中の神様」の心温まるお話を劇にしました。「誰かのために心を込めて作った物の中には神様が入っているのと同じこと。これをみんなに伝えられるよう、一生けんめい演じました。」

最後の劇です。男の子と女の子が、いろいろな時代にタイムスリップし、歴史の問題で勝負していく中、ある問題で協力してそれを解き、互いのよさに気づき、男女が仲良くなっていくという話でした。場面ごと一人一人の個性を発揮しながら、「自分たちの生活において大切なこと」を伝えていました。

最後に、全校児童で「友だちになるために」という歌を手話を交えて歌い、六年生があいさつをし、盛況のうちに学芸会は終わりました。この学芸会で培われた表現力を、これからの学校生活の様々な場面で発揮できるよう、また、さらに伸ばしていけるよう、今後とも子どもたちを支援していきたいです。



男の料理教室

三崎小学校

三崎小学校のPTA行事には、家庭生活を充実したものにするための、「家庭教育学級」があります。先日、お父さんたちが集まり、「男の料理教室」を実施しました。



包丁を、めつたにさわったこともない方から、漁師さんで、お母さんたちもびっくりするよう

の身近なことから、会話弾みました。来年度は、このような会「父親の会（仮称）を数多く実施し、PTA活動の活性化を図ろう」という話を持ち上がりました。三崎の父親は、パワーがあります。準備から後かたづけまで、予定より一時間も早く終わりました。今後のお父さんたちの活躍が楽しみです。



西宇和郡大会を振り返って

塩成小学校

新伊方町となり、新しい枠組みで、バスケットボール、陸上、サッカーの、体育行事が、本年度も実施されました。本校も、四年生以上の児童が、それぞれに参加しました。

たです。また、講堂の天井が低いことから、きれいなアーチのシュート

勝利しましたが、決勝戦に向けて、課題の多く残る展開でした。決勝では、それらをきちんと修正し、九町小に3対0で勝利し、優勝しました。ここでは、運動場の広さの関係で、2/3のコートサイズでの練習が続きました。しかし、その中で、保護者・地域の皆様の協力で、よくがんばりました。

六月に行われた郡バスケットボール大会では、Bゾーン（男子を含む編成）で参加しました。五校で行われたリーグ戦でした。二見小・佐田岬小と、まず対戦し、それぞれ39対20・36対10で勝利しました。決勝戦では、三机小との対戦でした。様々な行事で交流を持っている隣接校との対戦でした。前半は9対7と苦戦しましたが、集中力を切らさず、後半を17対6とし、優勝しました。

陸上大会では、団体でのリレーは、男子のみ参加しました。六年生三名、五年生一名の構成でしたが、決勝は、四走までもつれる好勝負となり、三位入賞を果たすことが出来ました。バトンパスは、練習を含めて、最高のつながりを見せました。本番でしっかり集中した子供たちのがんばりは、すばらしかったです。

来年度は、児童数が六名減り、二十一名となる見通しですが、また子供たちの粘り・集中力、そして保護者・地域の皆様の教育力で、スポーツに限らず、充実した教育活動となるよう、がんばっていきます。

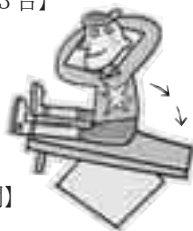


伊方スポーツセンターだより

トレーニングルームにきてみませんか？

理由その1 …いろいろなマシンがあります。

- 1) 筋力トレーニングマシン【10台】
- 2) リラクゼーション器具【2台】
- 3) ステアマスター【昇降運動マシン1台】
- 4) 自転車エルゴメーター【3台】
- 5) バランスボール
- 6) ダンベル
- 7) 腹筋台



理由その2 …利用料金が安い。

- 1) 中学生以上200円【2時間】
- 2) 小学生以下は使用不可

理由その3 …天候に左右されずに快適な空間で運動できる。

- 1) テレビがあります。
- 2) 冷暖房完備

理由その4 …有酸素運動から筋力運動まで行えます。

- 1) 有酸素運動…【効果】脂肪燃焼、生活習慣病予防 etc
- 2) 筋力運動…【効果】肥満防止、転倒予防 etc

水中ウォーキング教室を7日(火)

バランスボール教室を2日(木)に実施いたします。

● 詳しいお問い合わせは、下記にご連絡下さい。

伊方町役場(生涯学習課) ☎ 38-2661
伊方スポーツセンター ☎ 38-1100
☎ 38-0776



第5回 ライフアップ講座のご案内

もっと快適に！私のインテリア

～くらしの中のインテリアを楽しんでみましょう。自分を素敵に見せる色やイメージを見つけてみましょう。そして家族も一緒に楽しめるインテリア小物の飾り方を学びます～

■日 時 平成18年3月4日(土)
13:30～15:00

■場 所 伊方町中央公民館第1研修室

■講 師 松山東雲短期大学教授
東 優(ひがし・ゆう)さん

■対 象 者 18歳以上の男女 約20名程度

■申込方法 前日までに住所・氏名・電話番号を
生涯学習課へ連絡
TEL 38-0211・FAX 38-1179

■受講料 無 料



トピックス

モダン建築ふたたび

町内屈指のレトロ地区のひとつ、小中浦の近代化遺産が復活です。写真は渡辺紀代さん宅、実は旧石橋芳保邸、鉄筋のようですが実は木造、昭和11・12年頃築の擬似洋風建築です！ずいぶん傷んでいましたが、渡辺さんの自己負担で最近見事に復活しました！「遺して活かす」尊い選択はまさに賞賛もの！地域の歴史の証がひとつ息を吹き返しました。



2006年2月撮影



裂織りで半島文化をPR

1月21日、松山市道後にぎたつ会館で行われたえひめ地域づくり研究会のフォーラム「遺し伝える活動者の集いⅢ」で、佐田岬裂織り保存会の発表がありました。代表の小林文夫さんによる裂織り実演で、会場には大勢の人だかりができていました。オリコ・ツツレ・ニヅリ…あの仕事着がいまや半島共通の代表的文化になりつつあります！

「いかた学童クラブ」の参加児童募集

町教育委員会では、休日や放課後、帰宅しても保護者がいない児童を対象に「いかた学童クラブ」を開設し、4月1日から活動を行う予定です。下記の要領で参加児童を募集しますので、ぜひ、ご参加ください。

【平成18年度 いかた学童クラブ募集要領】

(1) 目 的

休日や放課後、帰宅しても保護者が家庭にいない児童を対象に、午後1時～6時まで、学童クラブを開設し、仲間づくりを通して、児童の健全育成を図る。

(2) 実施期間

平成18年4月1日(土)～平成19年3月31日(土)まで
ただし、休館日(月曜・祝日・年末年始等)を除く

(3) 実施場所

伊方町生涯学習センター 3階児遊館
放課後児童クラブ室

(4) 対 象 者

町内の小学校に在籍する低中学年生(原則3年生まで)で、放課後帰宅しても保護者が家庭にいない児童

(5) 定 員

20名程度まで(希望者多数の場合は別途選考)

(6) 申込場所

伊方町生涯学習センター 3階児遊館または
伊方町中央公民館

(7) 申込期限

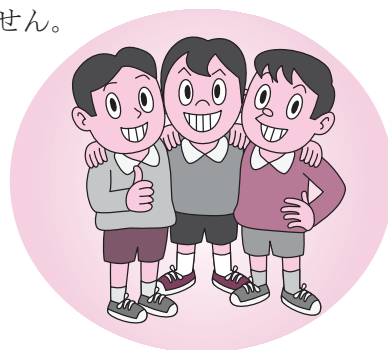
平成18年3月24日(金)

(8) 負 担 金

1ヶ月 2,000円(おやつ代など)

(9) 留意事項

- ①児童の送迎は各家庭で責任をもって行うこと。
- ②申込者はスポーツ安全保険(自己負担:500円)に加入すること。
- ③万一、事故等が発生しても町は一切責任は負いません。



町内4団体の陶芸作品を展示

伊方陶芸教室・瀬戸陶芸会・おりべの会・三崎陶芸会の作品を一同に集め、合わせて60名余りの会員一人一作品を伊方町生涯学習センター4階企画展示室で展示いたします。

各団体ともそれぞれ習い方は違いますが、土を練り、色を付け“世界で二つとない”作品づくりに、魅力を感じて腕を磨いています。

皆さんも是非この機会に作品をご覧ください、「私も、やってみたい」と思われたら希望する団体に加入され、陶芸に親しんでみませんか。

【期 間】 平成18年3月15日(水)～平成18年4月30日(日)

【場 所】 伊方町生涯学習センター 4F 企画展示室

【展示団体】 伊方陶芸教室 瀬戸陶芸会
おりべの会(三崎) 三崎陶芸会

問い合わせ先

伊方町生涯学習センター 電話(0894) 38-1020(内線855)



スケッチ



御殿のおひなさま

「佐田岬みつけ隊」のみんなで組み立て中です

TEL・FAX 39-02241
(不在の場合)
38-2661 生涯学習課
■開館時間 9:30～16:30
■休館 月ほか

◆ 今月のきょうどかん ◆

2006年 3月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

■—おやすみ

休館日は都合により、変更する場合があります。

町見郷土館企画展

「佐田家の食卓」

— ちょっと昔の半島食べ物事情 —

2月25日(土)～5月7日(日)

三崎高校美術部デザイン「佐田みさき」ちゃん一家が昔の「食」をたずねます！

関連行事

① むかしのおやつパーティー

3月4日(土) 10:30～15:30 町見公民館調理室

★親子5組参加募集！

イモモチやカンコロなど、郷土館サポーター「佐田岬みつけ隊」といっしょにむかしの味をたずねましょう。

先着順！年齢・人数不問。参加費無料。3月3日までに町見郷土館までお名前・連絡のつく電話番号をお知らせください。

② 講演会「地産地消と食育」

3月5日(日) 13:30～14:30 町見郷土館2階学習室

講師 田中 守先生・清家るり子先生（中四国農政局愛媛農政事務所）

現代の食事情、分かりやすくお話しします。入場無料。

町見郷土館から

懐かしきイモアメ

かつて佐田岬半島では、各地でサツマイモが盛んに作られていました。子供の頃近所の飴屋さんが作るイモアメを食べた思い出をお持ちの方も多いでしょう。先日、塩成の島津政良さん宅で久々に行なわれたイモアメ作りを取材させていただきました。

今回朝からイモアメ作りに挑戦したのは、島津米美さん、宮本美津子さん、有田よしさんなど数名。コンテナ9杯分（約一八〇kg）のサツマイモを使って丸一日以上費やした大掛かりなものでした。

まず洗った大量の芋をアク抜きの米糠と一緒に大釜で炊きます。ドロツとするくらい炊けると、それを深めの大きな桶に移してグチャグチャにつぶし、お湯とモヤシ（麦芽）を加えてよく混ぜます。

モヤシとは、裸麦を一昼夜水に浸し、発芽させて乾燥させ製粉機で粉にしたものです。

モヤシが効いて、澄んだ餡色の上澄みが出たら、このドロドロの芋をアンピラ袋（麻袋）に入れ、搾り器に移してじっくり搾っていきます。

ここで出る搾り滓を「二番」といい、お湯とモヤシを混ぜてさらに搾ることもあります。また昔は滓に麴を入れ、醗酵・蒸留させて、芋焼酎を作ることもあったようです。

さて、採れた搾り汁はこの時はまだサラサラです。

目の細かい袋でさらに濾した後、大釜に入れて延々と煮詰めます。

沸騰した後、は蓋を取り、水分を飛ばします。ア

クを取りながら、火加減調整しつつ、なんと



芋の粉を敷いたムロブタにアメを流し入れアメガタを作る
(2006年2月3日撮影)

佐田岬民俗ノート 10

約7時間！とろみの増す終盤は、焦がさぬように、ずっと混ぜ続けました。

夜、水飴状のギョウセン（凝煎）、板状に固めたアメガタ、はじいたトウキビ等とあえたトジマメが漸く完成しました。とろりと黒琥珀色に光る出来たてのイモアメは、やわらかな酸味をほのかに感じさせるコクのある深い甘みがあり、砂糖では出せない芋独特の風味を湛えていました。

かつて身近だったイモアメ作り、伝えたい「技」ですね。



伊方町立図書館



2月1日～3月26日まで 恐竜が町にやってきた!



ティラノサウルスやステゴサウルスそのほかたくさんの恐竜のフィギアを展示しております。また、恐竜の絵本やしかけ絵本・外国の絵本などを展示コーナーにて展示しております。みなさん、ぜひ、お越しください。



今月の新刊

- かもめ食堂／群ようこ 著
- クローズド・ノート／栗井脩介 著
- 生協の白石さん／白石昌則 著
- コドモノチカラ
- まちづくりと景観／田村 明 著
- 病は脚から!
- 四角つなぎのパッチワーク
- プロが教える! 家庭でできるごちそうの一品料理
- 世界一受けたい釣り教室
- ぼくが地球をすくうのだ
- 石井キヨシ 作／カワキタカズヒロ 絵
- ズッコケ中年三人組／那須正幹 著 ほか



利用案内

- 開館日／火曜日～日曜日
午前9時30分～午後6時
- 休館日／毎週月曜日(月曜日が祝日のときはその翌日も)
祝日・月末図書整理日・年末年始(12月29日から1月3日)・蔵書点検日

伊方町立図書館

伊方町湊浦1992番地
伊方町生涯学習センター2階
TEL(0894)38-0607 FAX (0894)38-0617
瀬戸町民センター・三崎公民館にて図書の返却のみ可能。

3月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

□…休館日



ピップスおはなし会のごあんない

3月のピップスおはなし会(図書館ボランティア)を
4日・11日・18日・25日に予定しています。

- ◆じ か ん：ごご 2じから
- ◆ば し ょ：図書館 おはなしコーナー
- ◆たいしょう：未就学児童・小学生低学年
- ◆てい い ん：30名程度
- ◆な い よ う：えほんのよみ
きかせなど





人権学習シリーズ 195

同和教育はなくなったの？

教育委員会生涯学習課

「最近、人権教育という言葉がよく使われていますが、以前の同和教育はなくなったのですか？」と地区別人権・同和教育懇談会で参加者から質問がありました。

これは、平成14年3月に特別措置法が失効し、地域改善対策事業が終了したことにより、同和教育が終了したかのような誤った認識によるものです。

そもそも同和問題は、同和地区だけの問題ではなく、日本社会の問題であると認識されています。このことは、昭和40年の「同和対策審議会答申」に「同和問題の解決は、国の責務であり、国民的課題である」と明確にうたわれています。そして今日においても、差別の完全解消に向けて、この答申の精神は脈々と生きています。

同和教育は「わが国の社会の中に根強く残っている部落差別をなくすることを中心的課題としながら、広く国民に、社会に存在するあらゆる差別・不合理を許さない人権意識の確立を図ろうとする教育」とであると定義づけることができるでしょう。

言うまでもなく同和問題を解決する目的をもっておこってきた歴史のある教育ですが、その広がりには同和問題だけにとどまらず、広く人権の問題を扱い、日本における人権教育の重要な柱となっています。

一方、人権教育というのは、教育の目標・制度・内容・

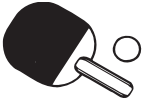
方法・過程などあらゆる面で人権を大切にする教育のことで、HUMAN RIGHTS EDUCATION(ヒューマン ライツ エデュケーション)の訳語です。

同和問題をはじめ、女性、こども、高齢者、障害者、外国人等あらゆる個別の問題を解決していくための教育の総称として考えられています。ですから人権教育とこれまでの同和教育というのは別々の考え方、違うとらえ方ではないことがお分かりいただけると思います。

わたしたちは、「同和教育こそ、日本における人権教育の具体的な教育実践である」という認識に立って、人権教育の中に同和教育を確固として位置づけ、これからも強力に推進していかなければならないと考えています。

広く社会に存在している人権問題を解決していくカギは、ひとりひとりの人権感覚を高めることにほかなりません。人権感覚を高めることは、個別の人権問題だけにとどまらずあらゆる人権問題解決に共通する重要なポイントではないでしょうか。

このように人権教育とは、これまで培ってきた同和教育の成果を生かしつつ、さらに、学習内容を充実していくという発展的なものとして位置付けられており、こうした理念のもとに「人権教育」は推進されていますので、決して「同和教育」がなくなったわけではありません。

3月	11:00	4日 生放送・VTR放送☆ Let's open the door! ③③	11日 生放送☆ Let's open the door! ③④	18日 VTR放送 Let's open the door! ③⑤	25日 生放送☆ Let's open the door! ③⑥
	11:05	子ども放送局 ニュース にじいろ玉手箱	ゆめ 夢スタジオ 一枚のTシャツ ～トライアスロン なかにしまちこ 中西真知子さん～	子どもとしょかん テーマ：みらい	チャレンジ教室 ものづくり みんなをびっくり させよう！ しんぶんし 新聞紙マジック
	11:15	「おしえてニュース」 「なんでも やってみよう」 ふゆ ぼくは 冬の牧場ホームステイ ～若手・くずまき高原～	トライアスロンは すいまい じてんしゃ 水泳・自転車・ラン ニングをひとりでやる こどく 孤独なスポーツ。でも さいご 最後までやりとげられ るのは、いつも支えて くれる人たちがいるか らだって。	わくわく どくしよランド えほん 絵本でふれあう せかい くに 世界の国	しんぶんし つか 新聞紙を使って、 3つのマジックに挑戦 するよ。うまく演じら れるかな？ こうし ふうし 講師 藤山新太郎 さん
	11:30	「子ども特派員報告」 「受信会場だより」 など。		THE MAKING ピンポン球が できるまで 	
	11:45	全国の体験活動情報が ぎゅっしり。 (11:45)	(11:45)	(11:45)	(12:00)
		さいほうそう 再放送 4日 13:30～ 8日 15:30～	さいほうそう 再放送 11日 13:30～ 15日 15:30～	さいほうそう 再放送 18日 13:30～ 22日 15:30～	さいほうそう 再放送 25日 13:30～ 29日 15:30～

生涯学習センターでは、三階児童遊館において、子ども放送局を放映しています。楽しい番組が盛りだくさん。皆さんの参加をお待ちしています。

子ども放送局



みんな来て！見て！参加してね！

報 文 芸

俳 句

伊方俳句会

縄跳びの子の頬赤し寒の入 木戸悦子
恙なき平穩願ふ国の春 山崎美喜
投函のコットンと春の足音が 井上良江
初詣出店の呼び声威勢よく 上田サチエ
釣りの子の未だ帰らざる虎 渡辺日出子
落笛 去年今年満ちたる国に心欠 池田君子
寒造り百尺地下の仕込水 上田益男
モノラック労に感謝の注連飾 篠川勝子
初祈禱社殿震はす大太鼓 松坂正子
除夜詣賽銭の音鈴の音 二宮寿賀子

注連飾車に確とくくりたる 菊池ましえ

白銀の霊峰眩し寒日和 田中初子

せち料理炭火の鯛に飾り塩 広瀬秀晴

初みくじ神の意いささか不満顔 門田千枝

初詣拍手強く響くほど 篠川晴子

屠蘇を酌む数の子夫の大好物 宇都宮睦子

一家族通ふ心の雑煮かな 宇都宮法子

藪椿散り散く石段踏み難し 井上まさる

風邪の床息子の炊きし粥の味 佐々木登志子

雪の鯉寄り添ふ底に泡一つ 梶谷芳久

瀬戸北斗の会

鍋つつく箸の増えたる吾が家族 起きぬけの喉を突きさす寒の水 井上奈津子
ちぎれ雲遊ばせてをり寒の月 締め切りに駄句を並べし夜寒かな 佐々木順子

招かし学芸会や梅日和

自転車降りて押し行く小春かな 伊藤植美

見上げれば研ぎすまされし寒の月

着膨れて寄りそっている寒雀 水野千代美

寒害の悲報の続く北の国 荒涼の冬山見つひと日過ぐ 藤村富士子

三机句会

京の里入相の鐘淑気満つ 中村愛坊
雀来て屋根よりこぼれ春の恋 松前シズ子
笛鳴きに少し障子を開けてみる 二宮清美
ひっそりと藁に囲まる寒牡丹 和泉裕子
寒き中土をもち上ぐ路の墓 山本タカエ
寒雀石塀に来て膨める 安田増子
大寒の星座輝く空仰ぐ 木村香代子
風通る竹簀に鹿尾菜並べ干す 大野律子
盆梅の蕾びつしり陽をあびる 長谷美久仁

麦を踏む仰ぐ石鉈輝ける

広き庭塀に囲まれ緋梅咲く 菊岡三代子

あみだ句会

四方の山時雨るる中に暮れてゆく 松本ツタ子
初風呂や炎の色に陽は沈み 西上ミツヨ
冬風きて残照映ゆる豊後灘 阿部ヨシ子
寒の早きは春早きかと娘に電話 菊池タツエ
ふるさとの蜜柑の色と香荷を解けば 中村千代香
大寒に入りて野良への身仕度を 池上松子
豪雪とや南の国の野水仙 塩崎信子
新町の暦めくれば灯台生る 池上馨
冬晴れの未明の満月海照らす 池井為吉

短 歌

かたばみ短歌会

子供達の遣りとぐ積木のビルディング再度の崩れくずれても笑顔 武田美生子
廃業と言ふ字に心閉ざしては跡継ぎの無き日々を商ふ 松坂正子
書き初めの般若心経筆持てば無心の中に刻は流るる 梶田ミヨ子
浅川の冬の流れの飛石を右往左往し雑魚を取る鷺 菊池朱見子
門松になますを供へ益々の繁盛祈りし杳き日の事 岡山綱子
似合ひの色と友の下さる春のシヨールうすむらさきに心を包む 宇都宮すみ
娘のつくる粘土の雛様それぞれに表情ちがふをしぼし愉しむ 是沢美那恵
事件・事故・人災・天災・大惨事洋の内外後たたりき 梶谷千代子

誤記訂正のお詫び

一月号「百俳句上」(段目七行目)「純白を手に凍てにけり」(渡辺)が正
同下段十行目梶原とあるは梶谷が正
二月号「百俳句上」(段目四行目)「百年の黽(しむ)一列に」(浜田)が正

